

ソース(神)

古代ビルダー種族(エンシェント)

どこかへ消えた存在

アヌンナキ=ホワイトドラコ・ロワイヤル(が成り済ました)

元々のアヌンナキはニビル(惑星ではなく実は巨大母船らしい)から来た存在。アヌンナキがないなった後、ホワイトドラコ・ロワイヤルがマルデク、エンキ、エンリルを騙っていたのが排除済。

現在エンキの部下であった4人の科学者が目撃者の直前と言わっている。(人は途中で死亡する3人が目撃されるらしい)。

成程ましまでなく本物のアヌンナキエンリルの息子、本来の体のまま現在も生きてカバルのTopとして活動中。ドラコが演じていた3人のアヌンナキをTopとするカバルとは別系統。まだ排除されていない模様。

既に排除済



古代ビルダー種族は何十億年の単位の古代に地球へやってきて、現在でも多数見られる超先進的技術を地上及び太陽系内のあらゆるところへ残している。この技術は現在の最も先進的なETでも解析できぬ

い程度なものであり、例えばスター・ゲートなどは現在でも古代ビルダー種族が作ったものをそのまま使っている。

この種族は次元が上がりすぎて、通常の高次元存在でも見つけられないような所へ消えてしまった。

しかしながらその意識は地球の周辺に隠れて存在したまま(凍結状態だった)であり、その意識の再起動にエンゼルさんが成功したことは既報の通り。

現在古代ビルダー種族が考えている事はエンゼルさんは伝わる。

アブラクサス(地球人)
古代の王族で900年生きるモーゼに613の戒律を授ける

既に排除済

</div